

平成 29 年 2 月 18 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 埼玉県立熊谷高等学校・細川佳代・本郷 敦
2. 講師氏名: Clement N. BARDON 博士
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 28 年 2 月 13 日 (月) 15:25~16:15
5. 参加生徒: 1 年生 28 人、 年生 人、 年生 人 (合計 28 人)
備考: 総合的な学習の時間において生物探究活動を選択する生徒
6. 講演題目: (英文) Study on the occurrence and suppression of N2O in agriculture
(和文)
7. 講演概要:
 - ・ 母国フランスについて
 - ・ 農業では、肥料として用いられる窒素から大気放出される N2O は CO2 の 300 倍の温室効果があるガスである。また紫外線で分解されオゾン層の破壊を引き起こす要因にもなっている。
 - ・ これからも、科学は人類にとって必要なものであって、科学者は社会にとって必要なポストである。科学は数値化することで分析検証を行う。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 35 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
大型モニター使用
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
送付されたアブストラクトの和訳
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: